

「パクパク」 (PACシリーズ)

— 堆肥ができるまで —

①

まず床材(水分調整材・発酵菌)を入れた槽内に生ゴミを投入します。

(槽内の温度設定は 50~60 度に設定)



②

この後生ゴミは槽内で攪拌され、高い温度により高速発酵致します。高温により活性化した発酵菌は発酵した生ゴミを分解致します。



③

その後、約24時間程で生ゴミは完全に(一部分解できない物を除く)堆肥化されます。



※写真の機械(処理機)はデモ専用機です。
※出来た堆肥は、一次発酵処理品です。

④

取り出された堆肥は、土壌改良材としてご使用いただけます。

(処理品は一次発酵品です。ご使用时はご注意ください。)

